

# 環研センターNEWS

令和元年5月号 山形県環境科学研究センター

目次

所長あいさつ / 【お知らせ】「環境科学体験デー」を開催します …… 1
【お知らせ】水生生物調査参加者募集 / 【事業報告】化学物質エコ調査結果について …… 2
【ほっとNEWS】光化学オキシダント / 【環境ミニ知識】海水浴場の水質調査 …… 3
【各部紹介】環境企画部～環境学習の支援～ / 【職員自己紹介】 …… 4

## ごあいさつ

山形県環境科学研究センター所長 佐藤貢一

今年4月に異動してまいりました佐藤です。環境科学研究センターでの勤務は、センターが村山市に移転した平成15年度以来二度目となります。どうかよろしくをお願いします。

さて、この5月から令和の新たな時代の幕開けとなりました。新たな時代には、どのような環境問題が待ち構えているのでしょうか？平成の初め頃、私が県庁で担当していた新たな業務は、スパイクタイヤ粉じん対策、特定粉じん発生施設（石綿使用施設）の規制、酸性雨調査などでした。スパイクタイヤは新たな法律で規制が開始され、全国で唯一、全県下を指定地域として対応しましたが、公害調停が成立し、タイヤ業界がスパイクタイヤの製造自粛をしたこともあり、あっという間にスタッドレスタイヤに切り替わり、粉じん問題は沈静化しました。特定粉じん発生施設についても短期間に届出指導、特定粉じんの測定体制の確立を図り、排出状況を把握してきましたが、規制が進み、10年以上前に全国の施設が全廃止されました。県内の酸性雨の状況についても、長期的には改善傾向が見られます。

石綿については特定粉じん排出作業（ビルの解体に伴うもの）が今から本番の課題ですが、平成の時代においては、その後もフロン、ダイオキシン類、不法投棄、PCB 廃棄物、PM2.5、放射性セシウムなど、様々な課題が発生し続けました。常に新たな課題への対応力が必要とされております。

天皇陛下は、水問題、水不足や水質汚濁、水循環や災害対策など広く水全般についての研究をされていると報道されております。近年、山形県においても気候が先鋭化し、渇水や豪雨災害が頻発しております。当センターでは、河川や海域、地下水の水質について、長らく調査研究を行ってきましたが、今年度から、国立環境研究所や全国の環境研究所とともに、災害時の緊急調査を想定した化学物質の簡易一斉調査の研究を始めるほか、水害時の災害廃棄物発生量の推計など、防災を意識した新たな調査研究を行ってまいります。

令和

## 【お知らせ】 親子で楽しむ環境科学体験デーを開催します

【日時】6月30日（日）10：00～15：00（受付開始9：50）

【場所】環境科学研究センター 環境情報・自然環境棟

6月5日は環境基本法で「環境の日」と定められ、この日を含む6月を「環境月間」として、環境保全等の活動を啓発、推進することになっています。

この環境月間の行事の一環として、当センターを一般公開する「親子で楽しむ環境科学体験デー」を6月30日に開催します。

体験デーでは、大人気のスライムづくりや廃ダンボールを再利用したエアカーリング、普段は公開しない研究棟の見学などを行います。

（その他の催しは、順次ホームページで公表していきます。）

親子で楽しく遊んで、環境のことを学んでみませんか？



スライムづくり



エアカーリング

## 【お知らせ】水生生物による水質調査 参加者募集！

「水生生物による水質調査」とは、川の中に、どのような生き物が、どのくらいすんでいるのかを調べることによって、河川の水質がどれくらいきれいなのかを調べる調査です。

身近な自然に接することにより、皆さんに環境問題・水環境保全への関心を高めてもらうよう、学校、子供会、公民館や地域団体などから参加していただき、毎年度実施しています。平成30年度は、68団体、延べ2,136人が参加し、県内50河川の100地点で調査が行われました。

今年度も、下記のとおり調査参加者の募集を行っています。川に入って、触れて、河川の環境や生き物について考えてみませんか？

なお、「職員出前講座」により、具体的な調査方法を、実際に現地に行ってお教えできますので、お気軽に御相談・お申込みください。



申込締切：令和元年9月17日（火）  
 調査期間：令和元年9月30日（月）まで  
 申込先：環境科学研究センター 環境企画部  
 ※ 詳細は、ホームページをご覧ください。

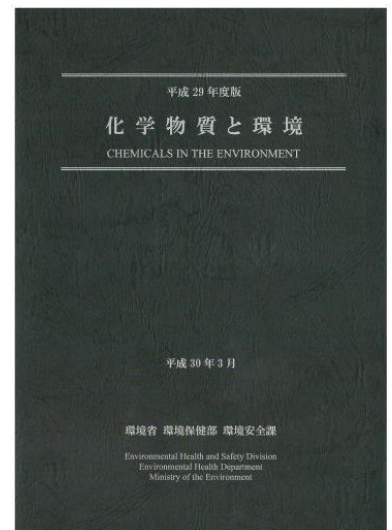
## 【事業報告】化学物質エコ調査結果について

環境省から、「平成30年度版 化学物質と環境」が公表されました。これは、全国で実施された化学物質エコ調査（化学物質環境実態調査）の平成29年度調査結果をまとめた報告書です。

山形県においても、昭和57年度からこの調査を受託し、環境中の様々な化学物質を調査しています。平成29年度は、最上川河口における水質及び底質（川床の砂泥）の採取、当センター屋上における大気の採取、最上川河口及び村山野川における水質中の化学物質の分析を実施しました。分析結果によれば、山形県内でも様々な化学物質が存在していることが確認されています。

この調査結果は、化学物質のリスク判断（ばく露量の見積り等）、化学物質管理に関する政策（化学物質審査規制法等）、国際的な取組（ストックホルム条約等）などの分野で役立てられています。

「化学物質と環境」は、環境省ホームページからダウンロードしてご覧になることができます。（<https://www.env.go.jp/chemi/kurohon/index.html>）



※写真は平成29年度版



## ほっとNEWS ～光化学オキシダントについて～

光化学オキシダントは、工場の煙や自動車の排気ガスなどに含まれている化合物（窒素酸化物など）が、大気中で強い太陽光線（紫外線）を受けることで光化学反応を起こして生成される物質であり、そのほとんどはオゾン（ $O_3$ ）です。光化学オキシダントは、日差しが強く、気温が高く、風の弱い日の日に発生しやすくなり、例年4月から6月にかけて濃度が高くなります。

高濃度の光化学オキシダントによる健康被害（眼や気道粘膜、皮膚などへの刺激症状）防止のため、オキシダント濃度が注意報の発令基準以上の高濃度になる場合には注意報を発令します。光化学オキシダント濃度が上昇した際に、県や市町村の関係機関の適切な対応及び円滑な情報伝達を確保するため、県では4月19日に注意報発令等の伝達訓練を実施しました。

注意報が発令された時は、屋外での激しい運動は避け、目やのどに刺激を感じたら洗顔やうがいをしてください。なお、県の光化学オキシダント濃度（速報値）や注意報発令状況は、ホームページから確認することができますのでご活用ください。

（<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/050014/Oxalert.html>）

また、近年は工場や自動車の排ガス対策が進み、光化学オキシダントの生成要因となる汚染物質は減少しているにもかかわらず、オキシダント濃度は低下していません。全国的にも環境基準の達成率は非常に低く、オキシダントの高濃度要因は明確になっていません。そこでセンターでは、今年度から「県内の光化学オキシダント実態調査」と題した研究事業を実施しています。県内における光化学オキシダントの詳細調査を通して高濃度要因を解明し、効果的な低減対策に繋げられるよう努めていきます。



訓練の様子（測定器の異常の有無を確認）

## 環境ニニ知識 ～海水浴場の水質調査について～

山形県では毎年海開き前に、皆さんが海水浴をする際の安全・安心を水質の面から確認するため、県内の主な海水浴場の水質調査を行っています。COD（化学的酸素要求量：水中の有機物による汚れの量）、ふん便性大腸菌群数、油膜の有無、透明度の計4項目の結果から総合的に判断し、各海水浴場の水質を優れた方からAA、A、B、C及び不適の5段階に評価して公表しています。近年、多くの海水浴場で水質評価AAとなっており、また海水及び砂浜の放射性物質濃度等も人への影響が無いレベルであることから、山形県の海水浴場はいずれも安心して海水浴を楽しめる環境が整っています。

このような海水浴場調査において、当センターでは海水のCODと放射性物質濃度の分析をしています。また、庄内総合支庁環境課と協力して、海水浴場で分析サンプルの採水も行っています。本年は5月中旬に鶴岡市の海水浴場調査を行い、雲一つない青空の下、無事調査を終えることが出来ました。今後引き続き酒田市や遊佐町の海水浴場調査も実施し、海開きまでには最終的な調査結果を公表する予定です。結果はテレビ・新聞・県のホームページなどを通してお知らせします。



サンプルの採水



COD分析中

## 各部紹介(環境企画部)

環境企画部は大きく分けて、環境に関する情報発信や環境教室の開催、講師の派遣などを行う「環境学習分野」と、県内の自然環境の実態を把握する、自然生態系保全モニタリング調査、ブナ・ナラの豊凶調査、ツキノワグマ生息状況調査などを行う「自然環境分野」の、2つの業務があります。

今回は、環境学習の分野から、出前講座(環境教室)を紹介します。

### ～ 環境学習に係る講師を派遣します！ ～

県民の皆さんに、環境について考えるきっかけとしてもらい、理解や認識を深めてもらうため、環境に関する学習会などに、当センター職員又は環境アドバイザー等の講師を派遣しています。

学校の授業や部活動、PTA・子供会活動、公民館事業、企業内の研修会、住民団体の勉強会など、子供から大人まで、様々な場面で御利用ください。

大まかな内容でも御相談いただければ、御希望に応じた環境学習の内容や講師を御紹介します。

派遣にかかる経費は無料ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください！

環境学習を通して、美しい環境を守っていくことの大切さについて考えてみませんか？

#### (1) 当センター職員による出前講座

当センター職員が講師となり、環境科学全般から環境行政に関する内容まで幅広く対応します。「水の汚れを調べてみよう」や「排気ガスを調べてみよう」、「リサイクル工作」など、実験や工作等も含めて、楽しく分かり易い環境教室を行います。

#### (2) 環境アドバイザー・地球温暖化防止活動推進員の派遣

大学教授や各環境分野の専門家の環境アドバイザー、又は地球温暖化防止活動に詳しい推進員を講師として派遣します。

水質、大気、廃棄物、野生生物、自然環境、エネルギーや地球温暖化など、より専門的で多様なテーマの話が聞けます。



出前講座の一コマ

## 職員自己紹介



水質検査の一コマ

センター2年目の水環境部の三浦です。今年度は工場や事業場の排水の水質検査を主な業務としています。

今年、県職員採用案内パンフレットやホームページに化学職として職員紹介していただきました。「令和」の最初という記念すべき年に、多くの化学職職員が在籍している中で選ばれたことは、とても名誉なことと感じています。

自然環境に興味を持ったこともあり、大学時代に気象予報士の資格を習得しました。大好きな自然豊かな風景、そして水や空気が清らかな生活環境がずっと続くよう、日々業務に精進しています。

### 編集後記

『つなぐ環境やまがた通信ブログ』( <http://tsunakanyamagata.n-da.jp/> ) をご存知ですか？センターが行っている環境教育・イベント情報や、様々な環境情報を発信しています。今年は今までよりも頻繁に更新していますので、ぜひチェックしてみてください。ツイッターもやっています！

《編集》山形県環境科学研究センター

住所 村山市楯岡笛田三丁目2-1 TEL 0237-52-3124 (環境企画部) FAX 0237-52-3135

ホームページ <https://www.pref.yamagata.jp/ou/kankyoenergy/053001/>

※ 携帯電話からアクセスする際には右のQRコードをご利用ください

